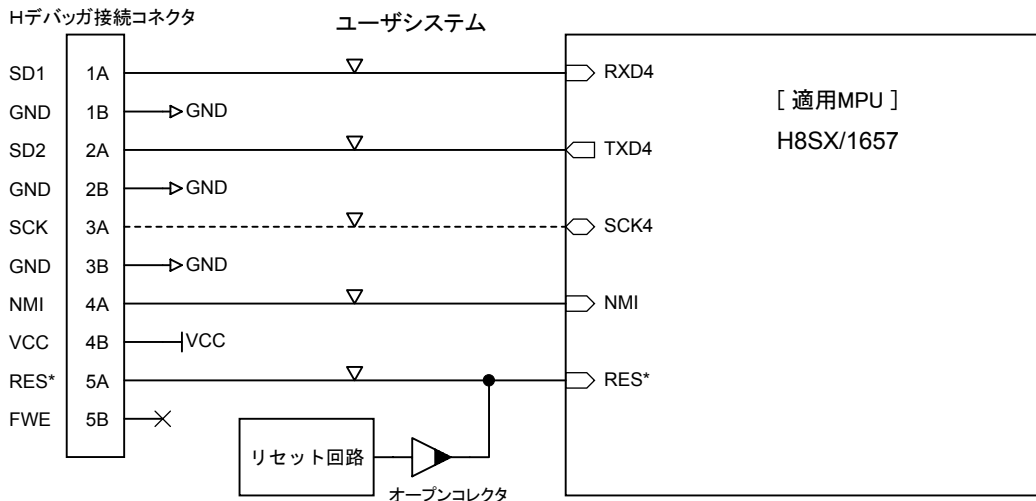


【 接続例1B 】 H8SX/1657の場合 (ブート接続 PBC無しタイプ)



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- 2) FWE信号は使用しません。(どこにも接続せず開放にしてください)
- 3) リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になる様ハード設計をして下さい。
- 4) CPU動作モード(ブート・実動作)設定回路は、ユーザ(ターゲット)側で用意して下さい。
- 5) CPU設定でターゲットI/Fを調歩同期/クロック同期の選択ができます。
調歩同期側に選択した場合は、SCKを開放にしてください。